

【事業名】 コウノトリの全国への生息地拡大に向けた京都府京丹後市、徳島県鳴門市及び福井県越前市・坂井市における新繁殖地形成モデル事業

【団体名】 コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル（IPPM-OWS）

令和3年度 生物多様性
保全推進支援事業
実績報告書別紙10-6

事業の背景・目的

野外での繁殖推進によってコウノトリの野外個体数を増加させ、国内各地に繁殖地を形成することでコウノトリの日本産個体群を復活させることを目指し、野外繁殖ペアが形成されている京都府京丹後市、徳島県鳴門市、及び福井県越前市・坂井市の各地域において、繁殖地を安定的に維持しながらコウノトリと共生する地域社会づくりを進めていくとともに、それらの活動をモデルとして今後国内各地にその活動を広げていくことを目的として、以下の事業を実施した。



事業の内容

事業①コウノトリ繁殖地環境改善事業

- ・人工巣塔設置のための助言を綾部市（京都府）、淡路市・加西市（兵庫県）、徳島県、南部町（鳥取県）等を実施した。
- ・今年度発生した傷病個体、死亡個体についての情報を集約した。
- ・人とコウノトリの共生について地域住民に普及啓発するため、リーフレットおよびステッカーを作成した。
- ・繁殖地自治体において、産卵日観察用および孵化日観察用の機材を設置し、繁殖状況の監視モニタリングを行った。



人工巣塔と監視モニタリング機材



作成したリーフレット

得られた成果

- ・2022年の繁殖期においては、石川県津幡町、京都府綾部市、兵庫県加西市などにおいて、新たにコウノトリの造巢行動が確認されている。これらの地域では、事業初年度に作成した「コウノトリ保全年針」、事業2年目に作成したリーフレット、事業3年目に作成したリーフレットを参考にしながら、コウノトリの保全が図られていくことが期待される。
- ・また、各地の自治体において本事業で構築したシステムを用いて監視モニタリングを行うことにより、繁殖地環境が安定的に維持されていくことが期待される。



携帯電話電波塔における造巢